



## 社団法人溶接学会第79回通常総会並びに平成23年度春季全国大会開催通知

第79回通常総会並びに平成23年度春季全国大会を下記の通り開催いたします。

### 【第79回通常総会】

**日時：**平成23年4月21日(木) 10:00～12:00  
**場所：**学術総合センター  
**議題：**平成22年度事業報告, 平成22年度決算報告,  
平成23年度事業計画案, 平成23年度収支予算案

### 【平成23年度春季全国大会】

**期日：**平成23年4月20日(水), 21日(木), 22日(金)  
**場所：**学術総合センター

東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

講演会プログラムはホームページに掲載いたします。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/index.html>

**全国大会参加費：**(全国大会参加受付は当日のみです)

正員・賛助員 5,000円 学生員 2,000円

非会員(学生) 3,000円 非会員(学生以外) 10,000円

## 平成 23 年度秋季全国大会

### インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

— 申込みはインターネット (J-STAGE) による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

平成 15 年度秋季大会より、J-STAGE (科学技術振興機構) を利用して、インターネットによる講演申込受付及び PDF ファイル形式による原稿の提出受付をしています。申込については、本会ホームページ「全国大会の案内」からお申し込み下さい。なお、申込及び原稿提出は、J-STAGE 利用のみとなりますのでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領(和文、英文)、講演プログラム校正の電子化、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が下記のように限定されておりますのでご注意ください。

**申込受付期間：4 月 27 日 12:00～5 月 25 日 14:00,**

**原稿提出期間：6 月 22 日 12:00～7 月 13 日 14:00**

PDF 原稿を作成するに際しては、PDF をプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。

なお、講演概要は J-STAGE にて公開されますので、公開を希望されない方は、非公開希望の旨、あらかじめお申し込み時に学会事務局まで申し出て下さい。

(注意事項)

- ①上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと J-STAGE の利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会 HP にて確認してください。
- ②原稿のファイル形式は、PDF 形式のみ受付ます。PDF のファイルサイズの上限は、3MB です。PDF ファイル作成のためには、PDF ファイル作成専用ソフト Adobe Acrobat (4.0 以上のバージョン) をご利用下さい。無料配布ソフト Adobe Reader では PDF ファイル作成ができませんので、ご注意下さい。
- ③PDF 原稿提出時に申込時のパスワードが必要になりますので忘れずに保管してください。

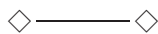
## 平成23年度秋季全国大会「研究発表」講演募集

— インターネット (J-STAGE) による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

概要集原稿の締切は皆さんのご要望により事務処理期間を大幅に短縮し、申込締切と分離して大会2か月前とすることにいたしました。

従いまして、申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲載をお断りし、その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分ブランクのまま発表されますのでご了承ください。



平成23年度秋季全国大会を下記のとおり開催いたしますから、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

開催期日：平成23年9月7日(水)、8日(木)、9日(金)

開催場所：皇學館大學（三重県伊勢市）

### — 講演申込募集 —

#### 1. 申込期間：

平成23年4月27日(水) 12:00～5月25日(水) 14:00

#### 2. 講演資格：

講演者は正員であること。連名の場合、講演者は正員(学生員も認める)でなければなりません。

#### 3. 申込方法：

前記学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。

◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。送金は銀行振込をお願いいたします(振込口座は申込受付時にメール送信いたします)。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。

◎受付済通知：J-STAGEより受付番号が発行されますのでパスワードとともに保管しておいて下さい。

※大会参加費は下記料金(改訂後)を大会当日別途申し受けますのでご留意下さい。なお、講演概要集(5,000円)は別売となります。

(円)

会員区分		講演登録料		大会参加費	
		改訂前	改訂後	改訂前	改訂後
個人会員	正員	4,000	8,000	2,000	5,000
	学生員			無料	2,000
賛助員		発表不可	発表不可	2,000	5,000
非会員	学生以外	発表不可	発表不可	4,000	10,000
	学生			無料	3,000

#### \*全国大会の講演登録料・参加費について

平成9年度に一部料金を改定しましたが、全国大会の恒常的な赤字運営は解消されていません。一方、公益法人改革の中で「公益性のある一般社団法人」への円滑な移行を目指すためにも、健全な学会財政基盤を構築する必要があります。

このような背景から、全国大会の開催に関して、平成23年度春季全国大会より、講演登録料および大会参加費を改定することになりました。

(平成22年6月11日理事会議決)

#### 4. 原稿(PDF)提出期間：

平成23年6月22日(水) 12:00～7月13日(水) 14:00

#### 5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。

#### 6. 発表時間：講演10分、討論5分

#### 7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。

#### 8. 講演申込の取り消しについて

講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。

#### 9. 付帯器具の申込み：講演に必要な器具(フィルム映写機、VTR等)は遅くとも大会1か月前までにお申出ください。大会直前に申し出られましても準備できかねる場合があります。同様器具を持ち込まれる場合も事前にお申出ください。会場の都合で設営できない場合があります。PC用液晶プロジェクタは常備します。なお、操作は講演者側でお願いします。

※PDF(原稿)作成の場合は、事前に解像度を確認してください。

# 溶接学会全国大会講演分類

分類記号 ・番号	内 容	備 考	分類記号 ・番号	内 容	備 考
I	<b>溶接プロセス (含機器)</b>		7	<b>新材料接合部の諸特性</b>	
	1 溶融溶接 (1): アーク溶接, ガス溶接			セラミックス	
	2 溶融溶接 (2): 高エネルギービーム溶接			8 複合材料	
	<b>溶接技術の新しい展開</b>			9 機能材料	
	3 新溶接技術			10 高分子材料	
	4 新熱源開発, 同応用			11 その他: 新素材開発	
II	5 加工技術		IV	<b>溶接・接合部の強度・破壊と設計</b>	
	6 その他			1 溶接・接合部の応力	
	<b>制御・システム工学, 溶接・接合技術の 各産業分野への展開</b>			2 溶接・接合部の静的強度	
	1 センサー, モニタ, 計測技術			3 破壊靱性, き裂 (発生, 進展)	
	2 インプロセス制御技術, 品質制御技術			4 疲労強度, 疲労き裂	
	3 ロボット工学・技術			5 環境強度, クリープ	
	4 自動化, システム化技術			6 溶接・接合設計 (強度計算など)	
	5 CAD, CAM, FA			7 信頼性, 安全性評価	
	6 製品開発			8 劣化診断, 寿命予測	
	7 生産, 製造, 施工, 組立など		9 その他		
	8 その他: 新技術, 新システムなど		V	<b>圧接, ろう接プロセス</b>	
	<b>品質保証, 施工管理</b>			1 圧接 (1): 抵抗溶接	
9 品質保証, 工程設計など		2 圧接 (2): 摩擦, 超音波, 爆接			
10 安全・衛生, 教育, 訓練		3 固相接合, 拡散接合			
11 非破壊検査, 同機器		4 接着, ウエルドボンド			
12 その他: 生産設備など		5 ろう接: ろう付, はんだ付			
III	<b>金属材料の溶接・接合部, 表面改質部の特性 (含鋼材, 溶接材料など)</b>		6 マイクロ接合		
	1 溶接・接合部, 表面改質部の物理化学		7 機械的接合: リベット, ボルト継手など		
	2 溶接・接合部, 表面改質部の組織及び機械的 性質		8 その他: 新接合技術		
	3 耐食性, 耐環境性		<b>表面改質及び熱加工プロセス (含機器)</b>		
	4 低温割れ, 高温割れ, 応力腐食割れなど		9 成膜 (1): 肉盛, 溶射, めっき		
	5 気孔, スラグ巻き込みなどの欠陥		10 成膜 (2): PVD, CVD, イオンミキシング		
6 その他		11 成形: 焼結, HIP, 鋳ぐるみなど			
			12 切断, ガウジング, 穴あけ加工など		
			13 その他: 焼き入れ, グレージング, 封孔処 理, 新加工技術など		

# 全国大会講演概要原稿執筆要領

— PDF 原稿のみとなります。 —

テンプレート及び書式が学会ホームページよりダウンロードできます。

講演概要は、提出された原稿をそのまま B5 版 (約 2/3) に縮写しオフセット印刷しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

## 1. 原稿用紙

本会所定 (又は、指定フォーマット) のものに限り、1 ページ目は、題目、勤務先 (研究場所)、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙 (A) を使用してください。

## 2. 原稿の長さ

題目 (和英両文)、勤務先、著者名 (和英両文)、キーワード (和英両文) 本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚 (A, B) にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40 字×37 行×2 枚=2,960 字 (タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字) です。

## 3. 原稿の書き方

### イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙 (A) の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

(副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いないように記載して下さい)

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード: アーク, 凝固, 割れ, 疲労

Keywords: arc, plasma, physics

### ロ. 本文

原稿用紙 (A) 12 行目から (B) いっぱいに原稿用紙の

コマに合わせて黒色で書いてください。また、タイプライター、ワープロ使用の場合、用紙の枠いっぱいにコマ数 (40 字×37 行) だけ打ってください。(全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません)

オフセット印刷であることを考えて、文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、刷り上がりが約 2/3 に縮刷されることを考慮して、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意ください。

大体、原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがきれいになります。

## ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、縮尺 (約 2/3) を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください。

または、直接原稿用紙に書き込んでも結構です。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意ください。

なお、顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは、刷り上がりが 2/3 になることを計算して記入してください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明 (Caption) は英文で書いてください。(写真は Photo でなく Fig. としてください)

## 4. 校正

校正は (著者、編集者とも) いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

## 5. 原稿の提出

提出期間内に PDF (原稿) を J-STAGE に (学会ホームページより) アップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。



# Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as "Preprint of the National Meeting of JWS."

## 1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

## 2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

## 3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

### a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

### b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

### c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

## 4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

## 5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be mailed to JWS office in an envelope, with a red note "Manuscript for the National Meeting" on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the envelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

## PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering

Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

## INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure with respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major factor

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

## 全国大会講演申込手順

### 〔講演申込手順〕

1. 申し込みは、学会ホームページのお知らせにある大会講演申込の案内にある「講演申込」をクリックして下さい。講演申し込み画面が表示されます。
2. 申し込み画面では、「新規登録及」と「登録内容確認」が表示されています。最初は「新規登録」をクリックしてください。  
入力の前に、新規登録及び登録内容確認についての説明が記載されておりますので必ずお読みいただき、操作上の注意事項を確認の上入力を開始してください。  
登録後に登録内容確認などを行うには受付番号と登録時に入力したパスワードがないと作業が行えませんので必ず保管下さい。当学会事務局では受付番号の確認はできますが、パスワードはわかりませんので、お問い合わせされる場合はご注意下さい。
3. 「登録票／件数入力」の画面では、まず、表記されている注意事項を先にお読みいただいてから入力を行って下さい。【必】のところは入力されないと次の画面へ進めません。入力する枠には半角の数字を入力下さい。入力が済みましたら「次へ」をクリックして下さい。演者数とその合計所属数及びキーワードを最初に入力します。この数字は次画面からの入力欄をいくつ表示するかを指定するものです。
4. 「登録票／所属機関」の画面では、「件数入力」で入力した数字分の所属機関数が表記されます。この部分も【必】扱いですので、全項目省略しないで入力下さい。所属は、研究者すべての所属を入力します。公開時に日・英両方表示することができますので、希望される方は日本語、英語両方入力して下さい。
5. 「登録票／研究者情報」の画面では、「件数入力」で入力した数字分の研究者数が表記されます。
  - (1) 会員情報の「会員区分」ではプルダウンメニューから選択します。右にある下向き矢印をクリックして選択を行って下さい。
  - (2) 「所属」は「登録票／所属機関」で入力したものが表示されます。  
選択されたものが誤っている場合は、「戻る」をクリックし、入力をしなおして下さい。
6. 「登録票／連絡者情報」の画面では、連絡者に関する情報を入力します。  
氏名、所属は、前の画面で入力した情報が自動表示されます。前の画面で「その他」を選択した場合は、自動表示されませんので氏名、所属から入力して下さい。電子メールアドレスは、登録終了後、受付完了のメールが送られてきますので、必ず入力していただきます。メールアドレスは、J-STAGE から受付番号などをお知らせしますので間違えないように入力して下さい。  
全項目入力できましたら「次へ」をクリックして下さい。

7. 「登録票／演題情報」の画面では、演題情報を入力します。  
「演題分類」をプルダウンメニューから選択して下さい。「発表形式」もプルダウンメニューから選択して下さい。「演題名」は講演原稿と同じものを入力して下さい。  
パスワードは「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。全て入力が完了しましたら、「確認」をクリックして下さい。不安がある箇所があれば「戻る」をクリックして前画面にもどって確認下さい。  
\* 演題名、要旨については Web 画面で表示するための<タグ>が使用できます。<タグ>は<B>、<I>、<SUP>、<SUB>、<BR>を使用することができます。
8. 「確認」をクリックすると、「登録票／登録票入力確認」の画面が表示されます。登録内容に誤りが無いことを確認して「登録」ボタンを押して下さい。これですべての入力作業は終了です。
9. 正常に登録されましたら「登録票／登録完了」の画面が表示されます。この画面では受付番号が表示されます。受付番号はパスワードとともに、「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。

### ＜補足説明＞

- ・投稿情報は、公開される情報になることから、入力内容の確認画面では投稿者は十分な確認をしたのち「登録」をクリックしてください。
- ・登録が正常に行われましたら、J-STAGE から受付完了のメッセージが表示されます。6桁の受付番号も表示されますので、忘れないように控えておいてください。  
注：変更処理等では、受付番号とパスワードを入力することになりますが、このときの受付番号は、先頭が0であっても6桁固定として入力して下さい。
- ・<タグ>を使用した場合の公開データの確認は、「登録内容確認」で表示イメージの確認により確認してください。
- ・登録締め切り後の変更はできませんので、締め切りまでに登録時の確認画面もしくは「登録内容確認」により必ず確認をしてください。
- ・登録締め切り直前（最終回）は、申込が殺到し入力しにくくなります。お早めに申してください。

### 《画面構成》

1. 新規登録受付／工程選択（トップページ）
2. 登録票／言語選択
3. 登録票／件数入力
4. 登録票／所属機関
5. 登録票／研究者情報
6. 登録票／連絡者情報
7. 登録票／演題情報
8. 登録票／登録票入力確認
9. 登録票／登録完了



## 全国大会講演プログラム校正の電子化について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

下記により、「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化（PDF化）し、ホームページ上での校正刷りの閲覧をしておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

### 記

#### 1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛に Eメールにてご通知いたします。（**校正刷りの郵送はいたしません。**）万一事故等により Eメールが未着の場合にも、7月初旬には開示いたしますのでご利用ください。

#### 2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー。バージョン 4.0 以上（ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応）

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produkts/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダーバージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

#### 4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX（03-3253-3059）にて送信ください。Eメールでの送信はご遠慮ください。

#### 5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: [kobayasi@jpp.co.jp](mailto:kobayasi@jpp.co.jp)





## 全国大会における液晶プロジェクターの利用について

全国大会運営委員会

今秋季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守ください。

**なお、パソコンは、発表者が各自ご持参ください。**

### 記

全国大会運営委員会で準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ

発表者の準備するもの

- 1) パソコン
- 2) パワーポイントで作成した発表用のファイル

※休憩時間の間にパソコンの動作確認をしてください。

## 平成23年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集

**主 題**：「溶接部健全性確保に向けた今後の溶接冶金研究  
－ 割れ防止と靱性確保 －」

**座 長**：篠崎賢二（広島大学）

**日 時**：平成23年9月8日（木）13:00～17:00

**場 所**：皇學館大學（三重県伊勢市）

**開催趣旨**：

平成23年春季全国大会のシンポジウムにおいては、溶接学会の8研究委員会がとりまとめた、各分野における研究ロードマップについての議論がなされ、今後の研究のあるべき方向が示される予定になっている。同年秋季全国大会のフォーラムにおいては、溶接冶金研究委員会が担当し、溶接冶金分野に関するロードマップ（H22年溶接学会誌に掲載済み）に関し、選定した具体的な課題について、研究の現状をレビューし、今後取り組むべき研究について議論する予定である。今後のトレンドの一つとして、材料（母材）の高機能化にともない溶接部健全性確保が実用化の最大の鍵を握る可能性が高い。たとえば、鉄鋼材料では高強度化されると溶接低温割れ感受性が高まりかつ靱性確保が困難となることが知られており、現状では、高い予熱温度を使って割れ防止対策が行われている。これが、施工コストの増加や施工管理の煩雑化を招き、高性能な鋼が開発されてもそのメリットが広く生かされない大きな要因の一つとなっている。また、耐食・耐熱材料の高機能化が溶接高温割れ感受性の増大を招くことが少なくない。耐食性向上に有効な合金元素の増加は凝固割れ感受性を助長することがあり、現状は添加量の制約と溶接施工管理の厳格化が必要とされている。そこで今回のフォーラムでは溶接割れ防

止、低合金鋼の溶接部の靱性確保に関し重点的に議論する。またロードマップが基盤技術の視点から策定されていることから実用面から見たローリングの必要性の有無や具体化への方向について議論する。

**予定討議項目**：

1. 溶接割れ・欠陥フリー
  - ・高温割れに関する現状レビューと課題
  - ・低温割れに関する現状レビューと課題
  - ・割れ防止に関する冶金現象のモデリング  
トピックス紹介－高温割れ  
トピックス紹介－低温割れ
2. 溶接継手特性の向上（今回は靱性に焦点）
  - ・溶接金属の靱性に関する現状レビューと課題
  - ・HAZ靱性に関する現状レビューと課題
  - ・溶接部組織形成のモデリング
3. 総合討論
  - ・「ロードマップに対する企業アンケート結果」のレビューと今後の方向
  - ・今後の展望

**申込方法**：

著者名、概要（200字程度）、所属、連絡先を明記し、FAX（03-3253-3059）にて溶接学会事務局へお申し込みください。

**申込締切日**：平成23年4月1日

**講演採否**：直接申込者に連絡いたします。

**講演論文原稿送付締切日**：平成23年7月6日

## 平成23年度溶接学会春季全国大会シンポジウムのご案内

東京スカイツリーは、目標の武蔵の高さ(むさし 634m)まであと僅かとなりました。工事中にも拘わらず東京の新名所になりつつあるようです。東京ゲートブリッジ(東京港臨海大橋)の工事もいよいよ佳境に入っております。羽田空港の洋上の新滑走路を利用された方も多いことでしょう。これらのビックプロジェクトのキーテクノロジーの1つが溶接です。本年度の溶接学会春季全国大会のシンポジウムでは、「超大型インフラ構造物とその溶接」と題して、これらの3つのプロジェクトに主体的に関わった7名の講師の方に各構造物の全体感、施工、材料などに関するご講演を頂きます。皆様におかれましては、この機会を逃さず奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

1. 主 題：「超大型インフラ構造物とその溶接」
2. 座 長：中込忠男(信州大学)様、  
館石和雄(名古屋大学)様
3. 日 時：平成23年4月20日(水) 14:15～17:00(予定)
4. 場 所：学術総合センター(東京・一ツ橋)

### 5. 講演プログラム

- ①「東京スカイツリーの設計について」  
(株)日建設計 ○慶伊道夫 様
  - ②「東京スカイツリーの施工」  
(株)日建設計 ○加賀美安男 様
  - ③「羽田空港 D 滑走路棧橋部の構造概要」  
新日鉄エンジニアリング(株)  
○竹内貴司 様、関口太郎 様
  - ④「羽田沖新滑走路の施工」  
新日鉄エンジニアリング(株) 木村文映 様
  - ⑤「東京ゲートブリッジの設計・施工(現場)に関して」  
川田工業(株)  
○畑 崇憲 様、小玉芳文 様、岩崎義信 様
  - ⑥「東京港臨海大橋の施工」  
川田工業(株) 四国工場 橋梁部 和田浩介 様
  - ⑦「大型構造物をささえる HT 系の溶接材料・施工」  
(株)神戸製鋼所 ○末永和之 様
- (講演題目または講演者の変更がある場合もありますので、最終プログラムにてご確認ください。)



## 国際溶接学会 (IIW) 2011 年次大会 (第 64 回) のご案内

本年度 IIW 年次大会が下記のとおり開催されますのでご案内いたします。

日本からの参加者は、IIW 加盟団体である日本溶接会議 (JIW) の参加承認を受けてください。JIW は溶接学会並びに日本溶接協会にて構成されており、参加には両学協会の会員であることが必要です。

IIW への参加登録申込みは、直接 <http://www.iiw2011.com/> にアクセスし、資料を入手の上、ご登録下さい。(第一次登録締切は 4 月 30 日です。)

IIW への参加登録と同時に、参加申込用紙 (英文) の写し (1 部) と日本語の JIW 宛申込用紙を、JIW 事務局宛お送りください。(JIW 宛申込用紙は、溶接学会ホームページから入手できます。)

なお、IIW 参加費とは別に下記の「JIW 参加費」が必要です。

(ただし、IIW 役員・委員長, Delegate, 学生は免除されます。)

**JIW 参加費:** 中立機関 ¥10,000, 企業 ¥30,000

**会 場:** チェンナイ (インド)

(Le Royal Meridien Chennai)

**会 期:** 2011 年 7 月 17 日(日)~22 日(金)

公開研究集会(International Conference)

主題「Global Trends in Joining, Cutting and

Surfacing Technology」(21 日及び 22 日)

**JIW 事務局:** (社) 溶接学会内 担当 石丸

E-mail: [ishimaru@tg.rim.or.jp](mailto:ishimaru@tg.rim.or.jp)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11

TEL: 03-3253-0488

FAX: 03-3253-3059



## WEB掲載の溶接学会論文集28巻(平成22年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される方は、下記により、平成23年3月31日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集28巻(平成22年度)

**【価格】** 15,000円/年1冊(税込・送料別)

**【申込先】** 「お名前(会社名)」「送付先住所」「冊数」  
をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。

日本印刷出版株式会社 TEL: 06-6441-0075

FAX: 06-6443-5815